

## 2021 Vol.3 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部へ寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*本誌のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) でご覧いただけます。

●特集では、最新の教育課題について、大・中・小の自治体規模に合わせて事例が紹介されていたので、自身の自治体と比較しながら、現状を考えることができました。ICT環境や支援体制の情報も参考になりました。(岡山県)

●特集の東北大学大学院・堀田龍也教授の「課題と解決策」を読み、「まず教員自身が、仕事でICTの活用を」という言葉が、自分自身のことを言われているように感じました。タブレット端末を子どもたちは見事に使いこなし、自分と一緒に学んでいる状況です。ICTスキルに自信がないわけではありませんが、技術の進歩が速いため、研修だけでは追いつかないのも現実で、試行錯誤の毎日です。(秋田県)

●特集の神奈川県川崎市の事例で、「かわさきGIGAスクール構想」の内容や推進組織が具体的で参考になりました。同市立田島中学校では、模擬授業形式で研修を行ったり、授業の振り返りを端末で提出させたりすることで、ICT活用が浸透し、授業や業務の改善が進むことが分かりました。ICT活用が日常化していることに驚かされました。(滋賀県)

●特集の山口県周南市立秋月小学校の事例に共感しました。学校の状況にもよりますが、機器の破損や不適切な使用を心配して、多くのルールを設ける傾向があるように思います。「端末を文房具の1つのように」とありましたが、多少の破損や不適切な使い方は想定内として受け入れ、適切に使っている多くの子どもたちに目を向けて活用していきたいと感じました。(神奈川県)

●特集の長崎県川棚町立小串小学校の事例では、ICTの活用方法が具体的に分かりやすく紹介されており、参考になりました。児童の具体的な姿や先生方の思いも、よく伝わってきました。ICTを活用した指導法を学んでいます。新しいことが次々と出てきて、アップデートしていく必要があるのです。こうした事例を参考にしたいと思います。(岐阜県)

●特別企画の大阪府大阪市教育委員会が実践されているように、国際社会で生き抜く力を育むためには、英語教育の強化が必要であり、小学校低学年からの英語教育は喫緊の課題です。今後、ALTの配置や、園・小・中と連続した英語教育の実践を重視していきたいと考えました。(新潟県)

●連載「教育長が語る Leader's View」で富山県砺波市教育委員会・白江勉教育長が語られていた「教員は、子どもと目で意思疎通することを大切にしてほしい」という言葉に共感しました。ICT化がいかに進んでも、教育の根源は人と人とのつながりにあります。目と目が合うことで、心がつながると思います。(北海道)

●連載「データで教育を読む」で紹介されていた、携帯電話やスマホの使用時間と、家庭学習・睡眠時間に関係があることに納得しました。子どもは保護者の姿を見ています。保護者も、子どもの前でスマホを見過ぎることなく、子どもとともにタイムマネジメントをする重要性を感じました。保護者会で資料として提示したいです。(埼玉県)

●連載「フロントランナーに聞く 教育の next」で、障害のある子どもを「学びについての特別な注文の持ち主」とし、よりよい未来の教育を学ぼうとする明蓬館高校の日野公三校長の視点到感銘を受けました。発達障害のある子どもへの支援について悩んでいましたが、ICTを活用して学びの機会を保障し、組織的・計画的に進めようと思います。(福島県)

●東日本大震災の際、教科書は失ったが、デバイスと電気と通信網があったため、クラウドに保存されていた教材やデータで学習が続けられた、と聞いたことがあります。紙の教科書がなくてもタブレット端末が使えれば、災害時でも教育の復旧を早められます。連載「新しい学びのかたち キーワード解説」で取り上げられた「デジタル教科書」は、そうした役割も担えるのではないかと考えました。(大阪府)

## 編集後記

大仙市立大曲小学校の「総合的な学習の時間」取材した、単元最後の授業では、地元の老舗菓子店の店主も参加して、これまでの活動を講評。授業後には、子どもたちが店主の周りに集まり、記念撮影をして別れを惜しんでいました。多様な他者との協働的な学びには、子どもが身近に感じられる仕掛けが効果的だと思います。「地域や食」というテーマで子どもが未来に思いをはせることは、深い学びにつながると実感しました。(広瀬)

## VIEWnext 教育委員会版 2021 Vol.4

2022年3月10日発行/通巻27号

発行人 山河健二  
編集人 春名啓紀  
発行所 (株)ベネッセコーポレーション  
学校カンパニー VIEW next 編集部  
印刷製本 研精堂印刷(株)  
編集協力 (有)ペンダコ  
執筆協力 神田有希子、二宮良太、長谷川教  
撮影協力 竹内洋平、福山 哲  
イラスト協力 齊藤明子

お問い合わせ先  
フリーダイヤル  
0120-350455  
〒700-8686  
岡山市北区南方3-7-17

©Benesse Corporation 2022

※ 2022年度 Vol.1 の発行は、6月を予定しています。